



「志五中だより」

夢に向かって全力を尽くし、社会に貢献しようとする
自立した人に成長することを願い、次のような生徒を育成する。

- ・自ら考え創造し すすんで挑戦する人
- ・思いやりの心を持ち 社会に貢献できる人
- ・豊かな情操と体力を育み 心身ともに健康な人

《響き合う学びのエリア》

令和8年度 第6号

令和8年9月24日発行

板橋区立志村第五中学校

校長 溝口 千里

生徒会から始まる「学び合い」の場

「テスト前に、分からないところを友達に聞ける場所があったらいいな。」そんな生徒の思いから、本校の「教え合いスペース」は始まりました。

昨秋の生徒会役員選挙で、立候補者の公約の一つとして語られ、生徒会本部の新企画として準備を進め、年明けに初めて試行されました。テスト前の放課後に、学年や学級を越えて、生徒同士が教え合い、学び合う場をつくる取組です。先生に教えてもらうのではなく、分からないところを友達に聞いたり、分かる人が教えたりしながら、一緒に学習します。

この取組が興味深いのは、「教えてもらう側」だけでなく、「教える側」にも学びがあることです。生徒からは、「友達に教えることで、自分自身の理解も深まった」「一緒に考えて問題が解けたときに達成感があった」といった声が聞かれました。

また、「家ではなかなか集中できないけれど、ここなら勉強に取り組める」「友達と適度に関わりながら勉強できるのがよい」という声もありました。学習する場所や仲間が変わることで、「ちょっとやってみよう」と一歩を踏み出せる生徒もいるようです。

もちろん、始めてみると課題も見えてきました。「教え合い」と「おしゃべり」の境目が難しいこと、静かに集中したい人には声が気になること、「いつ、どこでやっているのか分からない」という声もありました。

しかし、こうした課題が見えてきたことも、この取組の大切な成果の一つです。生徒が自

分たちで考えて始めた活動だからこそ、「もっとよくするにはどうしたらよいか」を生徒自身が考えることができます。

学校では、教師が課題を見付け、解決策を考え、生徒に示すことが多くあります。それも学校教育の大切な役割です。一方で、生徒自身が「こうしたい」「こうしたらもっとよくなる」と考え、仲間と関わりながら学校を動かしていく経験も、これからの社会を生きていく上で大きな意味をもつのではないのでしょうか。

本校では、生徒会活動を「行事や学校生活を運営するための活動」としてだけではなく、自分たちの学校生活を自分たちの力でよりよくしていく学びの場として大切にしています。「教え合いスペース」は、その象徴的な取組の一つです。

教師がすべてを用意するのではなく、生徒の「やってみたい」という思いを受け止め、必要な環境を整えながら、生徒の挑戦を支えていく。そうした「伴走する教育」をこれからも大切にしていきたいと考えています。

生徒が仲間と関わりながら、自分たちの学校を自分たちの手で少しずつ変えていく。その経験の積み重ねが、「自ら考え創造し、すすんで挑戦する人」という本校の教育目標に掲げる生徒の姿につながっていくと信じています。先日行われた今年度の生徒会役員選挙で選ばれた新役員の活躍が楽しみです。



校門外側に AED を設置しています

8月上旬より、地域の皆様にも利用していただけるよう、校門（学校に向かって左側）横の掲示板付近に AED を設置しました。

地域で AED を必要とする場面がありましたら、どうぞ御利用ください。



第 2 回「つながる保護者会」の予定

11 月 25 日 (水) 13 時 30 分～14 時 30 分 2 階 PC 室

学校や教室に行きづらさを感じている生徒の保護者を対象とした保護者会です。欠席が多くなっている生徒、ほっとルームを利用している生徒、日常的にオンライン授業で参加している生徒等の保護者に御案内を配布します。

今回は、スクールカウンセラーから「思春期の子育てのコツ」や「しかり方・ほめ方のポイント」などについてお話いただく予定です。



道徳授業地区公開講座の日程変更について

年間行事予定で 11 月 19 日 (木) に予定していた「道徳授業地区公開講座」は、12 月 10 日 (木) に変更となりました。これに伴い、11 月 19 日 (木) の学校公開も実施いたしませんので、御理解くださいますようお願いいたします。

今年度も、道徳授業地区公開講座の機会を生かし、体験的な学びを通して道徳教育の充実を図ることを目的に、東京都の「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」に応募しました。今年度は、「ミュージカルを観て、命と歴史に感謝しよう」をテーマに、小中学生が出演する JOY Kids' Theater オリジナルミュージカル『Letters～時をつぐむ手紙～』を鑑賞します。

ミュージカルの鑑賞を通して、命の尊さや歴史を受け継ぐことの意味について考えるとともに、共感力、自己肯定感、表現力、他者理解などの非認知能力を育む機会とします。

保護者の皆様も御一緒に鑑賞いただけますので、後日、改めて御案内させていただきます。

【生徒の活躍の様子は学校ホームページ
(学校日記) をご覧ください】

<https://www.ita.ed.jp/1320134/weblog>

※右の二次元コードをスマートフォンで読み取るか、デジタルデータ上では左の URL をクリックしていただくと、学校ホームページをご覧ください。

